

# 平成 21 年度事業計画

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで

## 1. 調査・研究の実施

- (1) 研究部会、分科会を開催し、その活動を通じて調査研究を進めるとともに、その成果報告会を開催して会員等に周知する。また、関連学会・研究会との騒音・振動に関する情報交換を行い、会員活動の拡大を図る。
- (2) 騒音振動関係の日本工業規格(JIS)の見直し・原案作成および国際規格(ISO、IEC)の審議に協力する。
- (3) 従来から実施している受託調査研究業務については、騒音・振動制御に関するテーマについて可能な範囲で受託し、騒音振動技術の発展に努める。

## 2. 会誌、技術報告、学術書の刊行

- (1) 「騒音制御」33 巻 2 号～34 巻 1 号の 6 冊を隔月に発行し会員に配布する。その中で、会員のニーズに応じた特集記事を企画し誌面の充実を図るとともに、学会 HP にカラー図表を掲載する等のサービスも積極的に行う。また、記事投稿の促進と執筆者への便宜、編集の効率化について検討するとともに、「騒音制御」の電子化への取り組みを継続し、Journal@archive（（独）科学技術振興機構）を通じて「騒音制御」を Web 上に公開する。
- (2) 「騒音制御用語事典(仮題)」、「お話シリーズ(仮題)」の出版に向けて編集作業を継続して進めるとともに、学会としての出版活動の一層の充実を図る。

## 3. 研究発表会等の開催

### (1) 平成 21(2009)年春季研究発表会の開催

平成 21 年 4 月 23 日に東京工業大学百年記念館において春季研究発表会を開催し、講演論文集を刊行する。

講演テーマ：以下の 4 テーマ

- ① 風力発電施設から発生する騒音について
- ② 床衝撃音の測定・評価と性能の表記
- ③ 環境振動の測定・評価・予測
- ④ 外部騒音の測定・評価と遮音設計

### (2) 平成 21(2009)年秋季研究発表会の開催

平成 21 年 9 月 10 日～11 日に埼玉大学工学部において秋季研究発表会を開催し、講演論文集を刊行する。

### (3) 分科会報告会の開催

新たに開設する分科会を含め、その活動報告と研究交流を図ることを目的とした分科会報告会を実施する。

## 4. 講演会、講習会、展示会、見学会の実施

### (1) 特別講演会等の開催

平成 21 年 5 月に開催する平成 21 年度通常総会において、特別講演会を開催する。  
また、平成 21 年 9 月に開催する秋季研究発表会において、特別講演、シンポジウム及び展示会を行う。

### (2) 懇談会の開催

環境騒音・振動問題に関する懇談会を開催し、現状の課題を明確にする。

### (3) 技術講習会等の開催

技術講習会を年 4 回程度開催し、騒音・振動技術の普及・向上に貢献する。

## 5. 国内外の学会・協会との交流

### (1) IEC-TC/29 総会の開催を共催する

### (2) inter-noise 2011 の日本開催に向けて準備作業に取り組む。

### (3) I-INCE 加盟団体としてその活動に協力すると同時に、ICA、WESPAC、INCE/USA 等と情報交換を行う。

## 6. 業績の表彰、認定技士の資格認定

### (1) 学会の表彰制度を効果的に運用し、会員による騒音・振動技術の推進と普及を促し、社会への貢献を図る。このために、守田栄論文賞、研究功績賞、環境デザイン賞、研究奨励賞の贈呈を行う。

### (2) 資格制度に基づき社団法人日本騒音制御工学会認定技士の資格認定を行うとともに、活動の強化を図る。

## 7. 新公益法人制度への対応

平成 20 年 12 月 1 日から新公益法人制度がスタートしたことに伴い、本学会としての今後の対応を準備する。

## 8. その他

### (1) 会員の拡充に努め、特に若年研究者の入会を促すために努力する。

### (2) ホームページの充実と整備を継続的に行い、学会活動の基盤強化と会員に対する学会情報等の素早い伝達と周知を図る。